夕刊
磐城新聞
二月十五日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料 普通欄金六拾錢 特別欄金九拾錢（五號十二字詰一行一回）（場所指定一行增）
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞 合資會社
電略（タイライワキ） 平郵便私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五五六五番

## 天氣豫報
小名濱測候所發表

今晩は北西の風晴（風强かるばし）明日は南東の風後曇

## ぢよかいせんきだん

野本大藏

三

今、Y海岸の建物を前にして、私は『女誠扇綺譚』を讀んだ時のやうな興奮を覺わた。

見れば見る程、この建物は、この邊では珍らしい位の豪壯さが漂つてゐた。なる程、この建物は禿頭港の廢屋のやうに、海賊の襲來を防ぐ眞四角な銃眼窓はない。龍の彫刻をした豪華な石の圓柱も、淡紅色の漆喰で塗つた夢幻的な走馬樓（ヴエランダ）もない。

然し大きな白壁の土藏やその上に突き出た頑丈な物見櫓は、確かに主人の豪快さを物語つてゐた。ガラス戸越しに見ると、物見櫓の天井は、眞中に一點を中心として放射形をなして張られてあつた。室內は多少支那風を加味した作りらしかつた。

恐らくこゝの主人は、かつては、この海岸切つての大船主で、豪放な性格の所有者かも知れなかつた。迫つた濃い眉、肉のついた太い鼻、ガッシリした顎の大柄な身體を、この物見櫓に上つて、海上を一望の下に見張つてゐたのだ。そして十幾艘の漁船が、朝靄をついて掛聲勇ましく船出するのを見送つたり、大漁の旗を夕陽に燦々と輝かして凱旋するのを迎へたりして、自然を相手として戰つた人間獨特の、幅のある濁み聲をあげて、快心の笑を發したであらう。

然し、禿頭港の沈一家が一夜の颱風の爲、沒落の憂き目を見たやうに、こゝの主人の一家もたまたま襲つた時化の爲に、沒落の途をたどらなければならなかつた。

物見櫓に上つて、その烱々たる眼を動かさずに、荒れ狂ふ沖をぢつと見つめてゐた主人は、不吉な報告を受けたのである。

『旦那樣、船は、殘らず難破しましたぞウ』

『何——』

『救助船まで……やられました！』

『ねね——』

主人は絶望的な叫びをあげて、どつかと腰をおろす。

## 千人針由來（三）

東國愁

其等は皆に古くて祟らばかりでなく、實は初め、彼の下野、常陸に接する奥州い各國境に關を置いて蝦夷が內地に入るのを喰ひ止めてゐたので、謂はばその關守神に奉祀したに過ぎない。是れが即ち世に有名な關であり、又其の

二所明神と呼ばれたものだが持分に主張して異否を競
故に後世に至り、續日本後紀の始末となつた、けれども
紀や延喜式にまで登錄され前者は明治に至つて郷社と
て、前者（常陸）は石都々なつた茨城縣近津村の近津
古和氣神、後者（陸奥）は神社、古今同所らしく國幣中
都々古和氣神と明截の榮をふが後者も亦同じく國幣中
得て中央にまで聞え外第社都々古和氣神社となつた
一の宮さへ知られた神々が棚倉町と八槻村の各社が
に。それ程社力のあつた何れも本祀を主張する爲內
爲、更に後世に及んで、仙務省では仕方なく同社に同
て。込方面には明神の崇敬格同神を指定するの已むな
白河村に分祀されたから終ひかつた
分護たすには何れが原の社か互に我[illegible]

## 2月15日

△日蓮上人安房に生る（貞應元）△露國大革命（大正六）

## 平局俳黎會 一月句會

席題『新年人事』（一）

○うれしさな初夢秘めし人妬し　華山
○羽子板や夢圓かなる祝言　同人
○暮歳やお世辭もうまき顏馴染　同人
○羽子つくや母に數へし數へ唄　燕子
○隣子越羽子つく影のうらゝなり　同人
○着ぶくれて萬歲通る雪の原　同人

△米伊直通電信開通（同一四）△第四回冬季オリンピック終る（昭和一二）△郵便料金改正決定（同一二）

## 弔志賀大將

珠雲 小野務平

百戰南支又北支
權豪畏敢武名馳
一身縱作情場露
赫々鴻勳竹帛垂

## 講談 髑髏組（どくろぐみ）

(115) 林杢兵衛作 金子士郎畫

運命（十）

『ふーむ、で、奴等の今夜の手配は』

『それが判らねえンで』

『どうしてだ。いつもの通り訊かなかつたのか』

『訊きやした。ところがけふはいつもと違つて嫌に用心しやがつて云はねえンですよ。お前達を疑ぐる譯ぢやねえが、どうも此頃こつちの手配が洩れる憂があるてンで、てんで話さねンでさア』

『愈々危ないな、感付かれたんぢやないか』

『そんな事もねえやうで御座んすが、とかく敵の迷ね野郎の事ですから、此の家を一先づ引拂つた方がよかア御座んせんか』

『うむ、それもさうだ。ちやア當分のうち例の宇治政へ移らう』

『すると、此の家はどうするんで……』

『さうだ此の儘にして置いて留守居は留五郎だ』

『なる程、それがよう御座んすよ』

宇治政と云ふのは、本郷春木町にある藥茶屋で、髑髏組が第二の隱れ家として世間の目を胡魔化してゐるところ。其處は今[illegible]居にあてられてある。

『お前達は駕籠を持つて來たか』

『へえ、持つて參りやした！』

『ちやあ氣の毒だが、宇治政までやつて呉れ』

『よう御座んす』

二人は、尻輕く立つて駕籠の用意を行つた。その間に權十郎は留五郎を呼んで

『暫く俺は、本郷の宇治政の方へ移るから、その間この家をお前に預ける。皆ん

りが來たらその積りで計らつて呉れ』

『ちやあ矢ッ張り此の家が危ねで御座んすか？』

『うむ、だから暫らく避けやうと思ふんだ、殊に依ると、けふあすにも客調べがあるかも知らねねが。もしそんなことがあつたら、な？解つてゐるだらう、其處を巧くやつて呉れ』

言外のうちに內意を含める權十郎。

『なアに、大丈夫で御座んすよ、だが隨分急でしたね』

『今度ばかりは俺も不意を喰はされたよ、もう一日遲いと一網打盡にやられる處だつたかも知れない』

『危ねぇ〱、ちやア一刻も早くお移りなせえやし』

『うむ、賴んだぞ』

權十郎は、如月の一切の支配を留五郎に委ねて立ち上つた。

そうして權十郎の乘つた駕籠がまさに如月の門を出やうとした時、先刻から頻りに門內の樣子を窺つてゐた二人の男が、同時にバラ〱と左右から近寄つて挾んだ。

『勘ニロ駕籠ぢやねわか！』

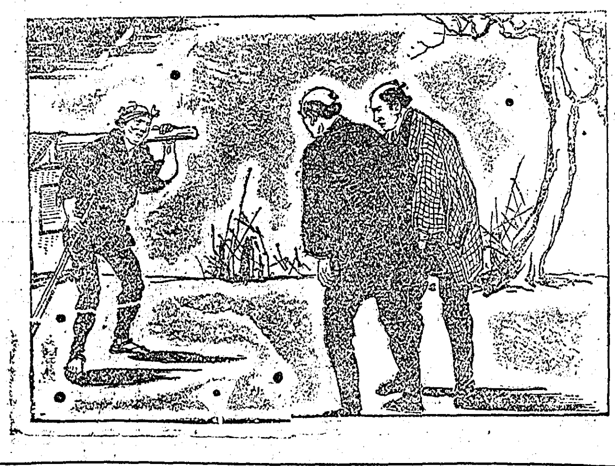
聞き馴れた聲音。はつと勘太と小六が棒立ちになつて見返ると、それは、つい先程迄話合つてゐた矢の倉茂十に、黄房の源七だから、二人は二度吃驚。五體の熱が一時にシユーッと引いて、顏色に血の氣がなくなり、同時に冷い汗がつる〱と氣味惡く背筋を傳つて流れた。

一見、何處の田舍親爺かと思はれるやうな巧みな變裝だが、その眼光の鋭さ、勘太と小六は、もう駄目だと、心に觀念しながらおず〱其處に駕籠を下した。

『如月をお前達は知つてゐたのか！』

薄氣味の惡い茂十の問だ（うつかり變な應答は出來ない）と、二人は云ひ合したやうに用心しながら

『けふは、始めて、あ、れからお客樣を送り込みましたので——中洲にこ、こんな立派な料理屋があるたア、ちつとも知らねンで——』



廣告

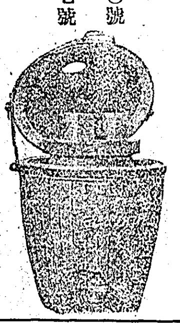
平市驛前通り 高柳醫院 電三三六番

外科 安齋醫院 平市田町 電四七五番

平市南町 根本產婦人科 電三四

病室增築、手術室完備
產科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
往診隨時 平市新川町『電話三六九番』

實用新案第一八七四三〇號
意匠登錄第六六一六七號
石山式 石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が強く堅牢で火の元絶對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。
平市五丁目
和洋銅物金物問屋 ㊇ 釜屋商店



お醬油は……ヤマフル
醬屋
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
福島縣平市 山崎合名會社 電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

外科（內臟外科及一般外科）
X光線科、花柳病
內科、小兒科
岩手醫學士 萬波勤
院長 前田清美
前田醫院（自炊ノ便アリ 病室完備）
田町本町電話二三四番

和洋 建具 家具 テーブル 椅子
其他裝飾品一般 御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
平市五丁目四 片寄製作店 片寄小彌太 電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集 御希望の方は至急申込下さい。

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体溫器 寒暖計
關內藥局 電話四〇番

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
內務省指定 福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時 院長 醫學士 金森五郎

東北の銘釀
特撰 銘酒 心氣陶然
平市三丁目 上總屋商店 電話七三一番

平市田町 高久病院（電話五三二番）
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
（看護婦至急募集）

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社石油特約店
福島縣平市支店一丁目（電話六十一番）
關彰商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五・三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡（關本驛前）電大津一四七番
福島縣四倉驛前 電平潟五四番
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名港）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所 電話八二四番）

恐るべき惡疫防止に
安全、確實な內服ワクチンを
おすゝめ致します
三共製 チフス內服ワクチン
大人（一人分）二〇セン 小兒（二人分）
——十五歳以上の方から大人の量です——
三共株式會社製品總代理店
西村屋藥局 平市本町二丁目 電話三番

夜間診療
專門
內科 胃腸病科
花柳病科 性病科 皮膚科
松村胃腸性病科醫院（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

內臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平市六丁目（橋際）
木村外科醫院 電話三〇九

# 平局の窓口に描く 暴風的銃後熱情

## 第二回 愛國公債 蓋開け後一時間にして賣切れ

愛國公債第二回の賣り出しが今十五日午前九時から平局の窓口でも開始された。昨年の第一回が全國で五千萬圓では足らず、千八百萬圓を追加して漸く暴風的銃後總動員の熱狂を喰ひ止めたと同樣、平局でも割當ての二萬圓が期間中悉く賣れ切れとなつた處へ今回は之に對する大衆の理解が一層深まつて居る爲め、五百圓、百圓、五十圓、二十五圓の四種を通じ、割り當てられた一萬七千五百五十圓は今朝蓋明け早々約その三分の二は之より先窓口に待ち受けた人々によつて飛ぶ樣に賣れてしまひ、殘り三分の一も十時迄に全部賣り盡したと云ふ凄まじい國債熱を漲らせた因に今回は當初の五千萬圓に對し一、二千萬圓を追加した處で燒け石に水なのでその準備をせず、更に第三回第四回を續行する方針であると

## 情婦と大連へ逃避

茨城縣多賀郡高萩町瀬戸熊次郎長男喜三郎(四〇)は昨年夏市内南町に料理業「壽」を經營してゐた神谷村下片寄生れ中村コウ(三八)と内緣關係を結び、同年十一月九日夜、妻子六人を父親にたのんだまゝ金五百圓を懐ろに逃避、大連方面で炭礦稼ぎをすると稱して、途中新潟から乘船する旨の便りがあつたので十五日熊次郎から『置去られた妻子が可哀さうです』からと平署に捜索願

## 交換手採用 試驗は今月末頃か

平局では例年學期末に交換手採用試驗を行つて來たが今年も今月末行はれる豫定なので平職業紹介所では目下管内連絡小學校から希望者を取纏めてゐる

## 國民總動員と簡易保險事業(三) 牛崎平局長談

遞信省では國民精神總動員による消費節約運動を強化して非常時財政經濟政策に協力する趣旨の下に簡易保險郵便年金報國運動」を起し各種の施設方法を講じて、全國民に向つて呼びかけることゝなつたがこの運動は洵に機宜を得た措置であつて、時節柄國民の共鳴を得ることゝ察せられる、國民はこの際、簡易保險事業に對する認識を新たにして、この意義深き運動に協力すべきだと思ふ

×

國民生活の安定向上を目さす簡易保險事業が、創始以來飛躍的な發展を遂げつゝあることは周知の事實であるが、なほこれを事實に就て見るに、最近の簡易保險の契約高は、件數二千八百餘萬件保險金額約四十二億圓に達し、昨年中の新契約件數は三百四十四萬三千八百餘件の多數になつてゐる、又郵便年金の最近の業績は、件數三十八萬九千餘件、年金額約三千二百萬圓であつて、昨年中の新契約件數は三萬三千五百件に達してゐるのである。

兩事業は、常に加入者の共同の利益の増進に即した經營方針を堅持してゐるのであるが、今次事變に際しても出征將兵の銃後の護りに遺憾なきを期する爲、特に「支那事變特別取扱及規程」を設けて事變本來の趣旨の徹底を圖つてゐる。

最後に一言すべきことは簡易保險並に郵便年金の積立金の運用である。兩事業の積立金は現在十五億圓を超ゆる巨額に達してゐるが之を放資運用するに當つては、現在五十餘種の社會公共事業に低利貸付してその助成に努めつゝあり尙益々膨脹しつゝある、政府資金を調達するため、現在は勿論、將來に於ても公債の消化に對して相當多額の放資を行ふことになつてゐる。即ち兩事業の加入者はこの積立金の放資運用を通じて現下の財政經濟に偉大なる寄與をなすものであるから兩事業の發展に協力することは、國民精神總動員の趣旨から言つて、寔に意義深いものがある(終)

× × ×

## 從軍僧講演行脚

今次事變に際し猍州部隊附從軍布敎使として戰線にあつた本縣喜多方町西光寺住職上野覺雄師は目下縣下で講演行脚の旅を續けてゐるが平市並に郡下町村でも左記日割によつて開催午前中は軍人遺家族慰問、午後二時から戰場視察の講演を試みる筈、平市の會場は未だ決定しないが大体第三小學校になるらしい

二月二十日平市、二十一日内郷、二十二日湯本、二十三日植田

## 駒セリ日割決る 賣馬不足で鰻上りか 前人氣さかん

郡下の駒糶は今年も澤渡村中寺をトップに左の如く日割がきまつた、馬の價格は事變關係と産地の賣馬不足で鰻上りの高値を呼び各方面から買人が雪崩れ込むので或は豫想以上の價格を示すではないかと見られ今から前人氣を煽つてゐる

△中寺三月三十日—四月三日△上遠野四月五日—八日△繋田同十日—十二日△樋賣十月四日—六日△上小川四月九日

## 南雲少將視察 あす小名濱へ

第二師團司令部附南雲少將は十六日縣下の模範校である小名濱青年學校を視察す

## 力強い更生の門出 けふ渡邊村の宣誓式 君島縣知事を迎へ

去る昭和八年郡下第二回の經濟更生村として指定された渡邊村は既報の如く更に特別村に指定され農林省からの一萬圓の補助によつて今後更生への力強い第一歩を踏み出すことゝなつたので村では『村民一体』を期し今十五日午前十時から同村小學校に君島縣知事を招きこれが宣誓式を擧行した今後の躍進振りを期待され

## 一時的の温かさ 本當の陽氣で無い 小名濱測候所の打診

早春如月なかば。駘蕩の風に水温む季節には未だ一寸間がある筈であるが、昨日の雨が齎した之の暖氣は、流石吹く風の何處かに底冷えを感ずるとは謂ふものの谷川瀬田圃あたり、微かな土の膨らみを見せて、小堀には野芹が、土堤には蕗の薹が暖い陽射しを吸つて愈よ春近さを思はせてゐる。

小名濱觀測所の觀測に依る今十五日午前十時現在の氣温は昨今の平均三度五、六分より一躍八度に上昇、道理で暖い筈であるがこれは昨朝島根縣濱田沖合に在つた低氣壓が東進して能登沖合に出で、一方四國沖合に發生した低氣壓が日本海に於ける前記の其れよりも勢力が强かつたので南寄りの暖氣となり昨日の雨を誘發したのであるがこの低氣壓は今朝當地沖を通過し茲に天候が回復したわけである。今の處氣壓の配置から見てこの天候も永續きせぬ模樣であり、また之の儘急に温くなる氣配は無い云々とあつて今日の氣溫は先づ以て氣紛れ陽氣と云つた處らしい

## 輸送の緩和をはかり 春の團体割引は中止 國鐵で 來月廿日から實施

鐵道では從來團体旅行の便宜をはかつて一般二十五名以上の場合は一割、學生三十名以上は二割の割引を實施して來たが最近著しく輸送の輻湊を見てゐるので、これが緩和をはかるため來月二十日から同月一杯團体割引を中止することになつた、右に關し平驛當局では語る

輸送の輻湊は最近に至つて愈よ甚しく、この間の團体旅行の時などはもつとも武運長久祈願旅行のせいもあつたが各列車とも滿員、増結してかうなんだからまことに甚しいものがある

## 武運祈願 團體募集

團体割引中止期間を前にし鐵道では目下笠間稲荷神社並に水戸常磐神社武運長久祈願日歸り團体を募集してゐる

來月六日平發午前七時二十分十時笠間へ正午出發水戸へ午後零時半水戸公園着、水戸發四時五十分同六時五十分平驛着の豫定、經費二圓四十四錢

◆◆◆◆

○。○。○。

## 鹿島村長再選

鹿島村長志賀直哉氏は十七日任期滿了となるが一昨十三日の村會で再選と決定

## 不審の男女判る

平署では昨夜、岩手縣警察部からの指名手配により市内住吉屋支店に宿泊中の岩手縣稗貫郡湯本村大温泉方番頭高橋仁三郎(三八)を捕へ同行の青森縣三戸郡猿部村萬藏長女老久保ハギノ(三二)を調べた

ハギノは昨年九月から叔母の山口カヨが經營してゐる前記大温泉方に手傳ひに來てゐたもの、仁三郎の罪狀は判らないがハギノを連れて來平、妻ハツ子(三二)と詐稱して泊つたものゝ懐中無一文、已むなく送金方を郷里に打電したことから所在が判明捜査手配となつたもの誘拐の嫌疑らしく見られてゐる

## 陣中を聽く (88)

### 無言の勇士！病馬を介抱して再起を急ぐ

市内杉平出身 西内牧造君(信通)

——皆々樣には益々御勇健にて銃後の護りに日夜御奮闘の樣拝承歡喜致して居ります。

過日は御激勵並に御祝ひの御芳書頂戴仕り感泣して居ります。小生等敵地上陸以來申上ぐべき戰功も無く誠に汗顔の至りに御座います。

去る十一月二十四日常熟以來現隊と離れ○○○直轄の病馬收容所長として皇軍の一員として無言の勇士、病馬を收容致し任務の一端を果しつゝあります、既に○○頭に上り半數は回復原隊復歸となりました。

敵の各地共抗日意識は猛烈にして到る處其の宣傳の徹底には驚くの外御座いません、又空襲に對する防護設備も殆ど完備と云はれる程です、又衛生的設備はゼロにて殊に飲料水に對する設備不完全にて流行病の猛烈なること當然と思はれます、又火災に對する消火器具など日本の現在にはないだらうと思はれる程舊式なものを省政府所在地の鎭江で見て驚いて來ました。

平市出身の大塚八郎少尉には江陰で會つたきりです

本格的寒さ到來、毎日零下四、五度ですが何れも大元氣にて來るべき出動を待待中です。

皆々樣の御期待に副ふべく常に心掛けて居ります。(略)酷寒の砌り益々御自愛大平市の發展に御努力の程を伏して御願ひ致します。

## 濃霧に惱む 長安嶺にて

磐中職員 庄司准尉

——江南の都杭州を距る東北方十七里長安嶺に位置し、鐵道線路の警備に任じ居り候も時に殘敵出沒し之等討伐に出動する事も度々有之候。

當地は北支地方と異つて概して暖さも昨年末より萬山にお化粧を施され又時には濃霧の爲め双眼鏡の使用も全然不可能なる場合も有之候。

甚だ微力乍ら一意專心努力致し御期待に添ひ度覺悟に御座候へば今後とも御指導御鞭撻下され度乍末筆御自重御自愛御健康に御留意遊ばされ度御願申上候(略)一月二十日

## 陸海軍へ計七名 磐中生兵學校合格 大に軍國氣分を昂揚

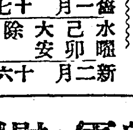
磐中では嚢に卒業生及び在校生から陸軍士官學校へ六名の合格者を出し、高月健兒の爲め大に軍國氣分を昂揚したが、今回更に四年在學の松尾匡博君が海軍兵學校の試驗に合格の旨發表された、同校から之の方面へ一時に七名の合格者を出したのは殆ど空前の快記錄である

## 四倉國婦傷兵慰問

四倉町國防婦人會では防寒綿入、下着シャツを一組として仕立て傷病兵に寄贈慰問することとなり目下同町女子青年學校に集合作製中である

巻……債券魔横山の檢擧の……によつて幾多笑へ挨……ぬナンセンスが描き出されてゐるがこれもその一つ。好間のある男最初はとても調子よく儲けを占めてゐたのでこれを聞いた友達の一人が『そんな儲け口を知らせないなんて友達甲斐がねえぞ』といつた調子でうつかり一枚加はつたのが失敗のもと、今では被害者の一人となつて共に青息吐息とは、飛んだ『友情の發露』であるよ

十六日(小名濱測候所發表)
滿潮 前六、〇〇 後五、四〇
干潮 前一一、五五 後—



| | | | |
|---|---|---|---|
| 舊一月十七日 | 水曜 | 大安 除 壁宿 | 新二月十六日 己卯 |

特判定版權 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 和合はありても應德には至つて紋のうすき日▲二黒 先見の利かぬ日新きの事には手を出す勿れ▲三碧 働きがひの現れ來る日午前中が尤も吉なり▲四緑 空景氣のみ强くして割合に實收の少なき日▲五黄 おくばに物のはさまりたる如き感しの生ずる日▲六白 表面幸福の如くみへて秋しよみだれ勝なり注意▲七赤 社交上の事は勿論日常の小事も緊縮がかん要▲八白 調子に乘り過ぎて失敗を招き易し自重第一▲九紫 陣容を整へ自重して進む時は意外の効あり

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
ニコ/\印高級ソロバン
ドンコ帳簿。ライカ帳簿
代理店 (文)魁文堂
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツソリイニペン
ゼネラル、カーボン紙

廣告

酒とマヅイ
おでんの榮ちやん
平市田町花ノ里 電話三三番

山野邊東次郎創製
養力胃腸藥
効果頗る優秀
發賣元 山野邊藥局 平・五丁目

謹啓善敎院小山道祐居士葬送の際は遠路御會葬被成下且御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段難有奉深謝候拜趨御禮可申述の處乍略儀以紙上御禮申上候

昭和十三年二月十五日

男 小山雍一
親戚一同

久實院送葬の際は御多忙中遠路態々御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段難有奉深謝候一々拜趨御禮可申述の處乍略儀以紙上御禮申上候 敬具

昭和十三年二月十五日

大谷武雄
外親戚一同

母フヂ病氣中ノ處藥石効無ク二月十三日夜九十歳ノ高齢ヲ以テ死去致シ候ニ付及御通知候

追テ葬送ノ儀ハ茶毘ニ附シ二月十六日午後二時自宅出棺菩提院ニ於テ佛式ニ依リ埋葬可仕候

昭和十三年二月十五日

男 渡邊權次郎
外親戚一同

電話開設
電話 一二一九番
平市南町谷口横町
果實 促成野菜 雜貨
齊藤商店

皇軍を慰問しませう
慰問袋に……
郷土色滿點の
『潮の華』
慰問品に限り勉强致します。
電話六六八
平五 泉屋菓子舖

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非！ 御試乘の程を！
市内四丁目
スヾキタクシー
電二一七番